

地域グループ

まちづくり委員会 事業計画

まちづくり委員会 委員長 吉原 隆智

歴史、文化、自然と素晴らしい観光資源に恵まれた我々のまちは、地域性から日帰りで訪れる観光客の割合が高く季節により観光客数に大きく差が生じることから、改めてまちの財産を創出する機会が訪れています。地域からの認知度と社会的必要性を見取り、行政の掲げる指針も視野に入れ他団体との共催にも目を向け、水戸の観光や交流人口の拡大という観点から時代に風穴を開け低投資でも高感度の溢れる運動を展開する必要があります。

まずは、水戸発祥の世界共通で楽しめるオセロゲームを地域により浸透させ、未来へのまちづくりの礎とするために、同世代との関わり方や地域の人々との世代を超えた交流の楽しさ大切さを三世代にまたがり学べる事業を開催することで、多くの人々がオセロを楽しみに訪れられる環境を整えます。そして、水戸市開催のまつりにて、市民一人ひとりに居住するまちに誇りをもたせ郷土愛を培わせるために、観光客や市民を対象に我々が地域資源を存分に活かし新たな価値を加え、市民や行政、関係諸団体と連携し構築した事業を実行することで、まちは活気と希望に満ち溢れ人々で賑わい、市民自ら地域資源を発信するまちへと変革します。さらに、年間を通して千波湖畔ボーリング場跡地周辺の観光客数を増やすために、五軒小跡地の有効利用をすでに実行してきた我々が、豊かな観光資源を調査、分析し組み合わせ、回遊性を図り、日帰りで訪れる観光客がまちの滞在へとつながる提言を行政にすることで、まちには年間を通し多くの観光客が訪れるようになり、市民一人ひとりが観光資源に関心をもち始め、意識の変化は新しいまちの創造へ歩を進めます。

自らが先頭に立ち地域を牽引する青年経済人としての挑戦は、新たな価値を生み出す原動力と個の自立性が融合し利他の精神と有機的な人々の構築が確立され、魅力に満ちた観光資源と、持続可能とする地域資源は希望に満ち溢れ、自らが誇れるまちが創造されます。

<事業計画>

1. オセロによる地域振興
2. 地域資源を活かした自らが誇れるまちづくり
3. 千波湖畔ボーリング場跡地活性化の提言